

平成 27 年度 第 2 回松田町総合教育会議 議事録

1 開会及び閉会に関する事項

- (1) 開催日時 平成 27 年 5 月 29 日 (金) 午後 3 時 00 分
- (2) 場 所 松田町立役場 4 B 会議室
- (3) 開会時間 午後 3 時 00 分
- (4) 閉会時間 午後 4 時 40 分

2 構成員の出席者及び欠席者の氏名

- (1) 出席者 松田町長 本山博幸
松田町教育委員会
教育委員長 安藤文一 委員長職務代理者 吉田保夫
委員 杉本葉子 委員 二宮朗子 教育長 鈴木良三
(事務局関係)
教育委員会教育課長 小田隆 課長補佐兼学校教育係長 遠藤洋一
- (2) 欠席者 なし

3 傍聴人

1 人

4 協議事項

- (1) 松田町の教育に関する大綱策定に伴う意見交換について

5 議題及び議事の要旨

(1) 開会

小田課長：第 2 回松田町総合教育会議を開催する。本日の会議は、次第のとおり松田町の教育に関する大綱策定に伴う町長と教育委員の意見交換である。

(2) 町長あいさつ

本山町長（議長）：本日の会議資料として、松田町第 5 次総合計画新まちづくりアクションプログラムを配付している。大綱策定にあたり、総合計画は町の最上位計画であるので、総合計画で記載のある教育行政と教育委員会で策定している「松田町教育基本方針」「松田町生涯学習基本方針」などと整合性を図りながら原案を作っていく。また、総合計画、教育基本方針及び生涯学習基本方針などで記載されている内容を把握するための手がかりとなるような重要な言葉（キーワード）を拾いながら計画のあらまし（輪郭）の方向性を定めていきたい。

(3) 協議事項

協議事項 1 松田町の教育に関する大綱策定に伴う意見交換について

遠藤課長補佐：本日の会議資料として既に他の自治体（3 市）で策定されている教育大綱を配付しているので、参考にしつつ、計画のあらましの方向性となるご意見をいただきたい。

二宮委員：教育大綱はどんな内容で誰に向けて策定するのか。

鈴木教育長：教育大綱は、これから目指すべき教育目標や施策の根本となる方針の部分であり、町民に向けたものである。よって、教育の重点まで定めなくてもよいのではないか。

安藤委員長：他市の例で方針を掲げて説明するものがあるので、そのような大綱のあ

らまし（輪郭）でよいのではないか。

遠藤課長補佐：方針だけ掲げている改訂した大綱の例もあるが、これでは町民に向けて内容がわかりづらい。

吉田委員長職務代理者：「人づくり」が基本である。環境整備は、そのための条件整備であって、教育は「人づくり」というのが結論に結びつく。その中でどう大綱に盛り込むかである。

本山議長：原点は「ひとづくり」で、「ふるさとに自信と誇りが持てる」「ふるさとを愛する」「温故知新」がキーワードとなる。松田の歴史を学び、いずれは松田に戻ってくるような学びができればと思う。

吉田委員長職務代理者：ふるさとは、幅広く捉えてよいのではないか。「ふるさとに愛着を持つ」「育ったところに愛着をもつ」「何かあったら松田を思い出す」「ふるさとが心の支えとなる」など、そのようなことだと思う。

本山議長：地域全体で子どもを見守るなど、自治会を介してのつながりや地域活動が「近所どうしのつながり」の基盤となっており、自治会によっては地域コミュニティ形成が図られているところがある。

杉本委員：仕事で地域を回るが、町内でも地域コミュニティの差を感じることもある。

本山議長：近隣の町では、不動産業者と提携して、自治会加入の促進をしている。新たに転入した人は「そこがあなたのふるさと」という認識をもつことが必要である。そういったことで「地域内の住民どうしのつながり」は重要である。

吉田委員長職務代理者：そういった意味で「豊かな心」「心豊かな人づくり」は重要である。

本山議長：「ふるさと」「心豊かな」「ほこり」もキーワードとなる。

吉田委員長職務代理者：現在の学習指導要領で「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成を重視していますが、「生きる力」ではなく「生き抜く力」の方が自発的にたくましく生きていけるのではないか。

遠藤課長補佐：総合計画の「現況と課題」に記載があるとおり、国の第2期教育振興計画の基本的方向性に「社会を生き抜く力の養成」「未来への飛躍を実現する人材の養成」が掲げられている。「生き抜く力」とは、今後、日本が直面する「グローバル化」「資源の有限化」「少子高齢化」といった複雑な社会を生き抜く能力をいい、問題に直面したときに新しい答えを創り出す力が重視されているところである。

本山議長：「生き抜く力」は攻撃的な言葉と捉えてしまっているのか、最終的に学習指導要領は「生きる力」で落ち着いてしまったかもしれない。必要な言葉は「生き抜く力」と思われる。

吉田委員長職務代理者：「生きる」に「たくましく」を加え、「たくましく生きる」もよいのではないか。

安藤委員長：「生きる力」「たくましく生きる力」「思いやる力」「社会とかかわる力」などをキーワードとして掲げ、大綱のあらまし（輪郭）の方向性を定めていけばよいと思う。

本山議長：他市の例で方針を掲げて7つの基本方針を記載しているものがあるが、この大綱よりも、簡易にわかりやすく記載するほうがよい。高齢者の施策はどこに含むか。

鈴木教育長：高齢者は、生涯学習の施策で考えてよい。

本山議長：一人一人の「ふるさと」の捉えは違うが、町外に転出しても「でもやっぱ

りふるさとなのだ」という気持ちが持てるように教育していかなければならない。ふるさとに自信と誇りを持てるように地域の魅力を学習する時間が取れればと思う。

吉田委員長職務代理者：未来を拓くには、必ずしもふるさとに帰ってくるのにこだわらなくてもよいのではないか。グローバル化している現代で、幅広い生き方でもよいと思う。地域の魅力を学習する時間は学校では限りがある。一番よいのは、家庭でのふれあいの中で歴史を学ぶ、あるいは夏休みを利用する。授業日数と内容が決められた中では、中々難しいものがある。

本山議長：具体的に地域でお住まいの方（資源）とつなげて、何かの場で話をしていたくなど時間を作ってもらうなど、できればと思う。今年は、夏休み期間であるが、寺子屋を開講し教育を行っていく機会を設ける。その中で「学校の授業で教えてもいいよ」という方が表れてくれれば。またそういった事の興味をもってもらう子どもになってもらいたい。

小田教育課長：キーワードとなるものが出てきたので、次回の会議までに町長と調整し、大綱のあらまし（輪郭）となる原案を作りたい。その原案により会議で議論していただきたいと考えている。

本山議長：会議冒頭で説明したとおり、総合計画で記載のある教育行政と教育委員会で策定している「松田町教育基本方針」「松田町生涯学習基本方針」などと整合性を図りながら原案を作っていきたい。その中で、本日の会議で「ふるさと」「ひとづくり」「心豊かな」「生きる」などのキーワードが挙げられたので、事務局と調整していきたい。

他に意見がなければ、協議事項1については、承認するというところでよろしいか。

構成員：全員了承

6 その他議長又は会議において必要と認めた事項

(1) 次回の会議の予定

平成27年7月1日（水）午後3時 松田町役場1階1A会議室

7 閉会